

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年11月25日

第32報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	40		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	400		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	640	○	
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40		
(珪) <i>Synedra acus</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	280		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	180		
(珪) <i>Suirella biseriata</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(緑) <i>Dictyosphaerium Ehrenbergianum</i>	200		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	80		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	180		◎
(藍) 藍藻綱	40	1.1	0.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	2.2	0.2
(珪) 珪藻綱	1620	44.5	13.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	4.4	2.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1740	47.8	83.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3640	総体積	9.31E+06
種類数	15	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

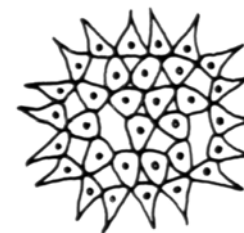
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Cyclotella glomerata</i>	640

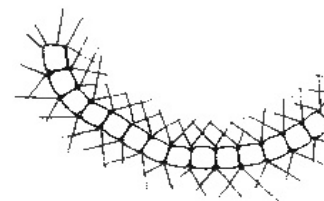
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ビワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Cyclotella glomerata***  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 $\mu\text{m}$ と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。